通信教育資料「初等教科研究・国語」（書写を含む）

～学校教育（書写）と書道塾（書道）では学習目的が違うことを理解しておこう～

皆様が将来、書写指導をする児童たちの中には、書道塾に通っている児童が必ずいます。通塾している児童は学校の先生が言っていることと書道塾の先生が言っていることが少しでも違うと困惑してしまいます。そもそも書写指導と書道塾は役割に違いがあります。

簡単に言いますと、書写指導（学校教育）は学習のねらいに沿った達成度が目的であります。例えば、「学」の「とめ」や「はね」ができているかどうかということで字形が美しいというのは二の次なのです。（だからと言って雑に書いて良いわけではありません）

書道塾は芸術としての書道美作品を制作することを目標にしています。少し極端な言い方ですが、作品が美しく芸術として成立していれば点画や線が正しく整っていなくても良いという考え方です。

分かりやすく「食事」で例えると書道塾指導は〝レストラン〟で、書写指導は〝給食〟なのです。レストラン（書道塾）における第一条件は何よりも美味しいこと（芸術としての書道美）です。変わって給食（書写指導）における第一条件は何より栄養素（学習にねらいに沿った達成度）です。最近の給食は大変美味しいので、例えること自体間違っているかもしれませんが、書道塾と書写指導ではそもそも学習目的が違うということを理解しておきましょう。

また、児童に「書道塾の先生が言っていたことと違うんですけど…」と言われたら上記のことを説明してあげましょう。